

平成 16 年 10 月 8 日

各 位

会社名 株式会社 タカラ
代表者名 代表取締役社長 佐藤慶太
(コード番号 7969 東証第 1 部)
問合せ先
常務執行役員財務部長 久保亮三
(TEL.03 - 3603 - 2134)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、本年 5 月 11 日の決算発表時に公表した平成 17 年 3 月期 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日) の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想

中間期 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 16 年 5 月 11 日発表)	54,000	1,100	900
今回見込 (B)	49,400	4,300	3,300
増減額 (B - A)	4,600	5,400	4,200
増減率 (%)	8.5%	-	-
前期実績 (平成 15 年 9 月期)	45,948	1,701	1,575

通期 (平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 16 年 5 月 11 日発表)	120,000	5,000	2,200
今回見込 (B)	110,000	3,300	3,000
増減額 (B - A)	10,000	8,300	5,200
増減率 (%)	8.3%	-	-
前期実績 (平成 16 年 3 月期)	107,261	3,124	799

2. 個別業績予想

中間期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 11 日発表）	31,000	1,000	800
今回見込（B）	23,300	2,800	5,900
増減額（B - A）	7,700	3,800	6,700
増減率（％）	24.8%	-	-
前期実績（平成 15 年 9 月期）	34,716	1,752	1,631

通期（平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A） （平成 16 年 5 月 11 日発表）	71,000	4,000	2,000
今回見込（B）	55,900	2,500	5,700
増減額（B - A）	15,100	6,500	7,700
増減率（％）	21.3%	-	-
前期実績（平成 16 年 3 月期）	68,287	3,306	2,055

3. 修正の理由

- 当中間期

- (1) 「玩具事業」において前期海外で売上を拡大した「ベイブレード」ブームが安定期に入り、海外売上が前年中間期の 148 億円から今中間期の 58 億円へと大きく減少する見込みとなること、また、国内玩具事業におきましては、男児玩具は前年中間期の売上を上回るものの、女児玩具、生活遊具、一般玩具で前年中間期売上に届かない見込みとなることから個別業績で売上・利益ともに計画を下回る見込みです。
- (2) さらに、連結子会社（株）ドリームズ・カム・トゥルー、チョロQ モーターズ（株）タカラプリスクール（株）等の不採算子会社の大幅な事業縮小等、抜本的整理に伴い、子会社への投融資損失引当を計上する予定です。
- (3) その他、連結子会社の販売不振、在庫整理等の影響により、今中間期の連結業績予想も大幅下方修正するに至りました。

- 当通期

- (1) 中間期において、在庫評価損、不採算子会社への投融資損失引当等に一定の目処がついたことから、下期期間業績では連結・個別ともに利益黒字化をはかりますが、通期業績においては、連結・個別ともに中間期業績のマイナス乖離を挽回するまでには至らず、通期業績予想を修正いたします。

【業績等の予想に関する注意事項】

この資料に記載されております業績等の予想数字につきましては、現時点で得られた情報に基づいて算定しており、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上